

夢や希望にあふれた予算になるといいな～



高瀬 勉 議員

重点施策と目玉事業

予算編成に当たり 基本的な考え方は

財政健全化基本方針に基づき、進めます

質問 重点施策と目玉事業は、政策推進課長

答弁 重点項目を「防災・減災力の向上」「子育て支援と健やか長寿の実現」「うるおい・にぎわいの創出」と定めました。避難所を兼ねた西中学校の改築や小川赤十字病院への財政支援等を実施する予定です。

質問 財政健全化への対策は、政策推進課長

答弁 歳入確保の一策として、徴収強化につなげるコンビニ収納の導入を考えています。また、町施設の集約を図り、歳出の抑制を目指します。

商店街の活性化策

質問 空き店舗の解消策は、産業観光課長

答弁 町では、空き店舗対策として商店街活性化補助金制度を有し、その中で家賃補助を設けています。起業をされ、空き店舗等を借り受けた場合には、この制度を有効に利用していただければと考えます。

質問 起業家精神の醸成と空き店舗の有効活用の一策として、中学生を対象にした新たな職業体験の場の設定は、

答弁 学校教育課長 現在行なっている職業体験(3Days チャレンジ)事業は、商



さらなる活性化が期待される商店街

売的な感覚を養うものではなく、見聞を広め、人とのかわりを学ぶことを主目的としています。教育課程の中では、実際

にお金を取り扱うような体験は難しく、新たな事業展開は考えられませんが、

質問 成年後見制度は、認知症や知的・精神障がいのため判断能力が不十分な方の財産管理、医療・介護の手配や支払いを代理し、地域で安心して暮らせるようにするものである。高齢化が進み親族や弁護士などの専門後見だけでは供給が追いつかず、法人後見、市民後見の必要性が今後求められてくる。制度推進のために、市民後見人養成モデル事業など法整備が進んでいる。町も応募し、市民後見人の養成や後見センターを設置する取り組みをすべきでは、

答弁 福祉介護課長 必要性や需要がある。市民後見制度は、高まることは認識してはいますが、現状ではモデル事業の応募は考えていません。社会福祉協議会と連携し、県や県社協で開催のセミナー等の研修に参加し、後見制度に対応する準備をしていきます。

質問 制度を知らせて市町村長による申し立ても増やしていくことが必要であるが、経済的理由で成年後見制度を利用したくてもできない方もいる。審判の申し立て費用や成年後見人等の報酬費用の助成が必要ではないか。

答弁 福祉介護課長 制度利用支援事業の要綱はつくってあり

住宅リフォーム助成制度の創設を

質問 地域活性化の一助として、住宅リフォーム助成制度の創設を取り上げてきた。今回商工会からも要望書が出されているが、町の対応は、

答弁 産業観光課長 町内中小企業の雇用の確保や中小企業者の経営支援の観点から研究していきます。

多くの人が制度を知って利用が進むといいな



東京大学で開かれた市民後見人養成講座



柳田多恵子 議員

成年後見制度 市民後見人の養成を進めて

後見制度に対応する準備をしていきます